



TITLE:

和歌山県白浜町沿岸で採取された  
南方系のフリソデミドリガイ(巻貝  
綱: ナギサノツユ科)

AUTHOR(S):

久保田, 信; 濱谷, 巖

---

CITATION:

久保田, 信 ...[et al]. 和歌山県白浜町沿岸で採取された南方系のフリソデ  
ミドリガイ(巻貝綱: ナギサノツユ科). Kuroshio Biosphere 2014, 10: 15-  
17

ISSUE DATE:

2014-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/187927>

RIGHT:

© 2014 黒潮生物研究財団

和歌山県白浜町沿岸で採取された  
南方系のフリソデミドリガイ（巻貝綱：ナギサノツユ科）  
**RECORD OF A SOUTHERN FORM *LOBIGER SOUVERBII***  
**(GASTROPODA: OXYNOIDAE) FROM SHIRAHAMA,**  
**WAKAYAMA PREFECTURE, CENTRAL HONSHU, JAPAN**

By

久保田 信<sup>1</sup>・濱谷 巖<sup>2</sup>  
Shin KUBOTA<sup>1</sup> and Iwao HAMATANI<sup>2</sup>

概要

Abstract

A southern form of *Lobiger souverbii* Fischer, 1856 (Opisthobranchia) was found from a coast of Shirahama, Wakayama Prefecture, central Japan in 2013 as the first record at Shirahama and described its soft body with the shell.

はじめに

Introduction

*Lobiger souverbii* Fischer, 1856 フリソデミドリガイは南方系の後鰓類で、主に奄美諸島以南の熱帯太平洋に分布する（小野 1999；奥谷 2000）。和歌山県白浜町沿岸では古くから後鰓類の研究がなされており、約 110 種以上が記録されているが（馬場・濱谷 1952 など）、今回、本種を白浜町沿岸での初記録種として軟体部と貝殻を記載する。

材料と方法

Materials and Methods

2013 年 7 月 8 日、和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎(33°41' N, 135°20' E)で 1 個体の生

1. 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所  
Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University,  
459 Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan  
e-mail: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp
2. 〒596-0045 大阪府岸和田市別所町 2-18-24  
2-18-24 Bessho, Kishiwada, Osaka 596-0045, Japan

体を採集した（図版 1A）。大阪市立大学学部生の動物系統分類学実習の折に、磯採集で実習生の小見山史穂氏が緑藻類のフサイワヅタ上で発見した。本標本を久保田が 1 ヶ月間飼育し、その間の観察をもとに記録する。

## 結果と考察

### Results and Discussion

#### 軟体部の形態

軟体部はフサイワヅタの色彩のように、全体が黄緑色で、2 対の振袖状になった側足を有していた。側足には短い枝のようなものが複数あり、その部分はピンク色をしていた。この側足と尾には小さな突起が多数ある。背面には内部にある 1 個の貝殻を背負い、丸く膨らんでおり、そこの部分には青く細い複数の縦線が走っていた。針などで刺激すると、側足を広げた。この様子は動画で撮影できた。しかし、刺激による白い汁の噴出は見られなかった。

#### 貝殻の形態

1 ヶ月間飼育飼育したが死亡したので軟体部から取り出した。貝殻は、長さ 4.7 mm、幅 3 mm で、白色であった（図版 1 B）。その貝殻の殻口は大きく、二枚貝の殻の一つの様に見える。この貝殻はアルコール保存し、久保田が所蔵している。

和歌山県白浜町より北方の静岡県大瀬崎や東京都八丈島で撮影された個体および南方の高知県大月町産などの本種の学名に、*Lobiger souverbii* でなく *L. viridis* をあてていること（中野 2012）がしばしばインターネット中で公開されているが、この経緯や妥当性については今後の課題としたい（Jensen 2007 参照）。ただし、Baba(1952; 1955; 1974) では *L. (L.) sagamiensis* Baba, 1952 は *L. souverbii* とされており、後鰓類の分類が専門である濱谷（2000）もこれに従っている。

## 謝辞

### Acknowledgements

本個体は発見・採取した大阪市立大学学部生の小見山史穂氏に深謝致します。

## 引用文献

### References

- Baba, K. 1952. Record of a rare sacoglossan mollusk, *Lobiger (Lobiger) sagamiensis* n. sp. from Sagami Bay, Japan. Zoological Magazine (Dobutsugaku Zasshi), 61(11): 337-338.
- Baba, K. 1955. Opisthobranchia of Sagami Bay, Supplement. Collected by His Majesty The

- Emperor of Japan. 59 pp., 29 pls, Iwanami Shoten, Tokyo.
- Baba, K. 1974. Some comments on *Lobiger souverbii* Fischer, 1856, re-identified, of Japan. *The Veliger*, 16: 253-257.
- 馬場菊太郎・濱谷 巖 1952. 紀州産後鰓類目録. 南紀生物, 別輯, 1-11.
- 濱谷 巖 2000. ナギサノツユ科. In 奥谷喬司 (編) 日本近海産貝類図鑑, 760-761. 東海大学出版会, 東京.
- Jensen, K. 2007. Biogeography of the Sacoglossa (Mollusca, Opisthobranchia). *Bonner zool. Beitrage*, 55(3/4): 255-281.
- 小野篤司 1999. フリソデミドリガイ. In ウミウシガイドブック 沖縄・慶良間諸島の海から, 37, TBS ブリタニカ, 東京.
- 中野理枝 2012. 高知県大月町西泊海域から記録された後鰓類 補遺. *Kuroshio Biosphere*, 8: 1-15 + 3 pls.



## 図版 1 の説明 Explanation of plate 1

図 A. 和歌山県白浜町番所崎で 2013 年 7 月に採取したフリソデミドリガイ（生体）

Figure A. *Lobiger souverbii* Fischer, 1856 collected from Banshozaki, Shirahama town, Wakayama Prefecture, central Japan in July 2013 (living specimen).

図 B. 和歌山県白浜町番所崎で 2013 年 7 月に採取したフリソデミドリガイの貝殻

Figure 2. Shell of *Lobiger souverbii* Fischer, 1856 collected from Banshozaki, Shirahama town, Wakayama Prefecture, central Japan in July 2013.

図版1

PLATE 1

